

平成29年9月21日

西村清彦統計委員会委員長

## 次期基本計画策定のための今後の審議の進め方について（提案）

## 〔これまでの審議状況〕

- 共通基盤WGにおいて、国民経済計算体系的整備部会や他のWGからの検討要請も含め、結論の得られていない事項が残されており、10月以降も審議を継続することが必要。
- 経済統計WGと国民経済計算体系的整備部会における審議事項には、これまでの議論を踏まえた結果、関連する経済統計に関する事項が含まれており、体系的整備の観点から、審議事項間の整理が必要。
- 国民生活・社会統計WGにおける審議は、ほぼ終了していると考えられるところ。
- 国民経済計算体系的整備部会の審議事項には、平成29年度中の実施状況を確認した上で最終的な結論を得るためペンディング扱いとしている事項が残されており、これらの確認・整理が必要。

## 〔10月以降の審議の進め方〕

- 共通基盤WGは、今後も引き続き開催し、結論の得られていない事項について、11月末を目途に結論を得ることとしたい。なお、残された審議事項を勘案すれば、3～4回程度の開催が見込まれるところ。
- 経済統計WGについては、10月以降に引き続き開催し、国民経済計算体系的整備部会と調整しながら、経済統計の体系的整備の観点から審議事項の整理を行うこととしたい。
- 上記の結果を踏まえ、基本計画部会の結論を得ることとしたい。
- また、国民経済計算体系的整備部会においても、同様に中間取りまとめにおいてペンディングとした事項の整理について、11月末目途に結論を得ることとしたい。
- 12月の統計委員会においては、この基本計画部会や国民経済計算体系的整備部会における審議の結果を踏まえ、次期基本計画の策定に向けた答申を取りまとめることとしたい。

※ なお、国民経済計算体系的整備部会SUT-TFにおいては、引き続き基本的な方針の具体化を図るための審議が必要。

以上